



上越支所だより  
ダウンロードページ



# 上越支所だより

特集

## 地図から見える自分のまち

～「支え合いマップ」を活用してみませんか～



住宅地図を用いて、地域の見守りの意識を高めることを目的とし、住みやすい街づくりを目指す手法として「支え合いマップ」があります。自らの地域を地図で見ることで、地域の強み、弱みなどわかりやすく必要な情報を共有し、福祉のまちづくりに役立てることができます。

### 実施地区をクローズアップ!

令和4年10月高土地区全町内会で支え合いマップを作成し、地域に必要な情報を共有しました。

#### 「支え合いマップ」を作成し、見えてきたこと

地域の関係者であっても地域実情がわかるようではない、地域として必要な体制や活動を考えるために、過去に作成していた町内会も含め、支え合いマップを作りました。自分の町内で、わかっていたつもりだったことに相違が見られたり、取りこぼしがあったことに気づきました。

高土地区の見守り活動（ひとふさの会）や支え合い活動の体制づくりに努め、年齢を重ねても高土地区に住んでいてよかったと思えるような地区になればいいと思います。

高土地区振興協議会  
会長 横川純一さん



作成時の様子



### 「支え合いマップ」ができるまで

#### 1. 社協へ相談



- ・地図を作成する範囲を決めます。(おおむね30～50世帯)
- ・地図を作成する協力者を募ります。
- ・作成する日時、会場を決めます。

#### 2. 地図に情報を書き込む



作成に必要な住宅地図やマジックなど社協が用意します。

- ・住宅地図へ「支援が必要な方」「気になっていること」、「頼れる方」など、見守りや支え合いに必要な情報を書き込みます。時間は1時間半程度です。

#### 3. お渡し



- ・社協が清書した地図をお渡します。
- ・保管先をどうするか決めます。



わかったつもりが…  
見えてきた!!

## 支えあいマップの効果

「支えあいマップ」を作成したことによる効果は社協が行う地域福祉活動計画につながっていきます。\*地域福祉活動計画とは住民同士が支え合う地域社会を作るための計画です。

### 意識づくり

- ・マップ作りをきっかけに地域で気になることを伝えあう関係を築けた。
- ・自分たちの地域をあらためて考える機会になった。
- ・地域の大切な活動に参加や協力ができた。

### ひとづくり

- ・地域の実態を把握し認知症を理解する講座を開催した。
- ・子供から高齢者までの交流の機会をつくった。
- ・専門技能のある住民に防災訓練に参画してもらえた。



### 仕組みづくり

- ・有事の際に、連携する関係者と話し合いが出来た。
- ・多世代の意見をきく地域懇談会の場をもうけた。
- ・支えあいマップに緊急連絡先や地域の体制づくりを見直した。

### 活動づくり

- ・日中独居になりやすい方々のサロン活動をすることにした。
- ・見守り活動の一端で回覧板は手渡しやあいさつ、声かけを行うようにした。
- ・活動を通じ、地域が好きになった。

➔ 確認する ➔ 気づく ➔ 共有する ➔ 話し合う ➔ 見直す ➔



## 令和5年度 ボランティア保険のお知らせ

ボランティア活動中の事故に備え、各種ボランティア保険があります。安心してボランティア活動を行うためにご加入をご検討ください。

○加入期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

\* 中途加入の場合は加入手続きを完了した日の翌日から補償となります

\* 加入に際し、当会ボランティアセンターへ登録が必要です

○対応時間：8：30～17：30（土日祝除く・災害等の非常時は開設あり）

種類	概要	料金・支払い方法
ボランティア活動保険	日本国内のボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして無償で活動するボランティアの方々のために発足した保険制度	基本プラン：350円 天災・地震補償、特定感染症重点プランもあります。 *現金支払い
ボランティア行事用保険	地域福祉活動やボランティア活動の一環として行う各種行事における様々な事故に対する備えとして発足した保険制度	詳細はお問い合わせください。 *加入者振込

皆様のご意見をお待ちしております

上越支所

〒943-0806 上越市木田新田1-1-3 上越総合福祉センター内3階 電話 526-1515 FAX.526-1230